

注3

大学番号：私026

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

常磐大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人常磐大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウムカ オオツキ ユキノリ
 総務課 大槻 行徳

電話番号 029-232-2717

（夜間） 029-232-2717

F A X 029-231-6078

e-mail soumu@tokiwa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人常磐大学

(2) 大学名

常磐大学

(3) 大学の位置

〒310-8585
茨城県水戸市見和1丁目430番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリ セイイチ) 森 征一 (平成26年11月)		
学 長	(トミタ ノブホ) 富田 信穂 (平成27年4月)		
学 部 長	(ムライ フミエ) 村井 文江 (平成30年4月)		
学科長等	(ムライ フミエ) 村井 文江 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	80人	年次-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 () []	- () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.18倍	
志願者数	177 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	174 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	135 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	95 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.18									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	95 (-) [-]	- (-) [-]	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			95 (-) [-]	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	95 人	0 人	平成30年度	人	人	
平成31年度	人	0 人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	0 人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	0 人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	95 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文系	哲学・倫理学	1・2前・後		2							1	
	人間と宗教	1・2前・後		2							4	
	文学	1・2前・後		2							2	
	心理学	1・2前・後		2							1	
	思想史	1・2前・後		2							2	
	歴史学	1・2前・後		2							4	
	地理学	1・2前・後		2							1	
	言語文化論	1・2前・後		2							1	
	社会系	法学	1・2前・後		2							1
		日本国憲法	1・2前・後		2							1
経済学		1・2前・後		2							3	
政治学		1・2前・後		2							1	
社会学		1・2前・後		2							1	
地域社会論		1・2前・後		2							4	
文化論		1・2前・後		2							4	
著作権と情報倫理		1・2前・後		2							1	
自然系	生態学	1・2前・後		2							1	
	物質とエネルギー	1・2前・後		2							2	
	生活と化学	1・2前・後		2							1	
	宇宙の科学	1・2前・後		2							1	
	科学技術論	1・2前・後		2							1	
	科学史	1・2前・後		2							1	
健康系	生理学	1・2前・後		2							1	
	心の科学	1・2前・後		2							2	
	生命倫理	1前	2								1	
	生命の科学	1・2前・後		2							2	
	食と健康	1・2前・後		2							1	
数理解・情報系	情報の科学	1・2前・後		2							1	
	情報化と社会	1・2前・後		2							1	
	数学	1・2前・後		2							1	
	パズルと論理	1・2前・後		2							2	
	ウェブデザイン基礎演習	1・2前・後		2							1	
	グラフィックデザイン基礎演習	1・2前・後		2							1	
	実践系	文献講読	1・2前・後		2							2
		日本語表現演習	1・2前・後		2							3
		ディベート	1・2前・後		2							1
		伝統文化論	1・2前・後		2							1
創作文化演習		1・2前・後		2							2	
芸術鑑賞論		1・2前・後		2							1	
身体運動の原理		1・2前・後		2							1	
健康スポーツA		1・2前・後		1							1	
語学科目	英語 I	1前	2								3	
	英語 II	1後	2								3	
	英語 III	2前	2								3	
	英語 IV	2後	2								3	
	英語 V	2前		2							1	
	英語 VI	2後		2							1	
	上級英語 I	1・2前・後		2							3	
	上級英語 II	1・2前・後		2							4	
	上級英語 III	3・4前・後		2							3	
	上級英語 IV	3・4前・後		2							2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文系	哲学・倫理学	1・2前・後		2							1	
	人間と宗教	1・2前・後		2							4	
	文学	1・2前・後		2							2	
	心理学	1・2前・後		2							1	
	思想史	1・2前・後		2							2	
	歴史学	1・2前・後		2							4	
	地理学	1・2前・後		2							1	
	言語文化論	1・2前・後		2							1	
	社会系	法学	1・2前・後		2							1
		日本国憲法	1・2前・後		2							1
経済学		1・2前・後		2							4	
政治学		1・2前・後		2							1	
社会学		1・2前・後		2							1	
地域社会論		1・2前・後		2							4	
文化論		1・2前・後		2							4	
著作権と情報倫理		1・2前・後		2							2	
自然系	生態学	1・2前・後		2							1	
	物質とエネルギー	1・2前・後		2							2	
	生活と化学	1・2前・後		2							1	
	宇宙の科学	1・2前・後		2							1	
	科学技術論	1・2前・後		2							1	
	科学史	1・2前・後		2							1	
健康系	生理学	1・2前・後		2							1	
	心の科学	1・2前・後		2							2	
	生命倫理	1前	2								1	
	生命の科学	1・2前・後		2							2	
	食と健康	1・2前・後		2							1	
数理解・情報系	情報の科学	1・2前・後		2							1	
	情報化と社会	1・2前・後		2							1	
	数学	1・2前・後		2							1	
	パズルと論理	1・2前・後		2							2	
	ウェブデザイン基礎演習	1・2前・後		2							1	
	グラフィックデザイン基礎演習	1・2前・後		2							1	
	実践系	文献講読	1・2前・後		2							2
		日本語表現演習	1・2前・後		2							3
		ディベート	1・2前・後		2							1
		伝統文化論	1・2前・後		2							1
創作文化演習		1・2前・後		2							1	
芸術鑑賞論		1・2前・後		2							1	
身体運動の原理		1・2前・後		2							1	
健康スポーツA		1・2前・後		1							1	
語学科目	英語 I	1前	2								3	
	英語 II	1後	2								3	
	英語 III	2前	2								3	
	英語 IV	2後	2								3	
	英語 V	2前		2							1	
	英語 VI	2後		2							1	
	上級英語 I	1・2前・後		2							4	
	上級英語 II	1・2前・後		2							5	
	上級英語 III	1・2・3・4前・後		2							3	
	上級英語 IV	1・2・3・4前・後		2							3	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	中国語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	中国語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	中国語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	中国語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	ドイツ語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	ドイツ語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	ドイツ語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	ドイツ語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	フランス語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	フランス語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	フランス語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	フランス語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	スペイン語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	スペイン語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	スペイン語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	スペイン語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅳ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅶ	1・2・3・4前・後	2								1
日本語Ⅷ	1・2・3・4前・後	2								1	
全学基本科目	学びの技法Ⅰ	1前	2								1
	学びの技法Ⅱ	1後	2								1
	統計の基礎	1前	2								1
	情報の処理	1前	2								2
キャリア教育科目	キャリア形成と大学	1後	2								1
	キャリア形成と産業社会	2前・後	2								1
	キャリア演習Ⅰ	2前・後	2								1
	キャリア演習Ⅱ	3前・後	2								1
特別企画科目	インターンシップ	2・3・4前・後	2								1
	プロジェクトA	2・3・4通	4								3
	プロジェクトB	3・4通	4								3
	プロジェクトC	2・3・4前・後	2								1
	海外研修A	1・2・3・4前・後	2								1
海外研修B	1・2・3・4前・後	2								1	
海外研修C	1・2・3・4前・後	2								1	
人間の身体と生命科学分野	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								5
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	3								7
	人体の構造と機能Ⅲ	4前	1								4
	臨床栄養学	1後	1								1
	食物栄養演習	1後	1	1							1
	感染と免疫	1後	2								1
	臨床薬理学	2前	2								1
	遺伝と健康	4前	1		1						1
	臨床病理学	2前	1								1
	疾病と治療論Ⅰ	2前	2								5
	疾病と治療論Ⅱ	2前	2								4
	疾病と治療論Ⅲ	2前	2								4
	疾病と治療論Ⅳ	2後	2								2
	人間の発達心理学	生涯人間発達心理	1後	1			1				
臨床心理学		2後	1	1							1
人間関係論		1後	1								1
カウンセリング論		3前	1								1
健康行動とヘルスポモーション		1後	1			1		3			2
医療問題解決方法		2前	1				1				1
人間の社会科学分野	公衆衛生学	1後	1								1
	疫学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論	2後	2				1				3
	保健統計学	1後	2								1
	医療と経済	4後	1								1
家族と社会	1後	1								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	中国語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	中国語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	中国語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	中国語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	韓国・朝鮮語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	ドイツ語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	ドイツ語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	ドイツ語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	ドイツ語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	フランス語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	フランス語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	フランス語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	フランス語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	スペイン語Ⅰ	1・2前・後	2								1
	スペイン語Ⅱ	1・2前・後	2								1
	スペイン語Ⅲ	3・4前・後	2								1
	スペイン語Ⅳ	3・4前・後	2								1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅳ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4前・後	2								1
	日本語Ⅶ	1・2・3・4前・後	2								1
全学基本科目	学びの技法Ⅰ	1前	2								2
	学びの技法Ⅱ	1後	2								2
	統計の基礎	1後	2								1
	情報の処理	1前	2								2
キャリア教育科目	キャリア形成と大学	1後	2								1
	キャリア形成と産業社会	2前・後	2	2							1
	キャリア演習Ⅰ	2前・後	2								1
	キャリア演習Ⅱ	3前・後	2								1
特別企画科目	インターンシップ	2・3・4前・後	2								4
	プロジェクトA	1・2・3・4通	4								3
	プロジェクトB	2・3・4通	4								3
	プロジェクトC(未開講)	1・2・3・4前・後	2								2
	海外研修A	1・2・3・4前・後	2								11
海外研修B	1・2・3・4前・後	2								11	
海外研修C	1・2・3・4前・後	2								11	
人間の身体と生命科学分野	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								8
	人体の構造と機能Ⅱ	1前	3								8
	人体の構造と機能Ⅲ	4前	1								4
	臨床栄養学	1後	1								1
	食物栄養演習	1後	1	1							2
	感染と免疫	1後	2								8
	臨床薬理学	2前	2								1
	遺伝と健康	4前	1		1						1
	臨床病理学	2前	1								1
	疾病と治療論Ⅰ	2前	2								5
	疾病と治療論Ⅱ	2前	2								4
	疾病と治療論Ⅲ	2前	2								4
	疾病と治療論Ⅳ	2後	2								1
	人間の発達心理学	生涯人間発達心理	1後	1			1				
臨床心理学		2後	1	1							1
人間関係論		1後	1								1
カウンセリング論		3前	1								1
健康行動とヘルスポモーション		1後	1			1		3			2
医療問題解決方法		2前	1				1		1		1
人間の社会科学分野	公衆衛生学	1後	1								1
	疫学	2前	2								1
	保健医療福祉行政論	2後	2				1				3
	保健統計学	1後	2								1
	医療と経済	4後	1								1
家族と社会	1後	1								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の基礎	看護職への道Ⅰ	1前	1			1						
	看護学概論	1前	2			2	4					
	看護倫理	2後	1			1						
	看護管理とチームアプローチ	2前	1				1					
	ヘルスアセスメントⅠ	2前	1			1	2	3	4			
	ヘルスアセスメントⅡ	3前	1				2	1	4			
	情報と看護展開Ⅰ	2前	1			2	2					
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2			2				2		
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2			1				5		
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			4	5	4	8	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	1後	1			1			7	4		
	基礎看護学実習Ⅲ	2前	2			1			7	4		
	生涯発達と看護	成人・高齢者看護援助Ⅰ	2後	2				2	1	4		
成人・高齢者看護援助Ⅱ		2後	3				2	1	4		2	
小児看護援助		3前	2			1	1	2				
母性看護援助		3前	2			2	1					
精神看護援助		2後	2				1	1				
情報と看護展開Ⅱ		3前	2			1	3	4	2			
生涯発達における援助技術		3前	1			2	5	4	4			
看護展開導入演習		3前	1			3	7	6	7			
成人・高齢者看護学実習Ⅰ		3後	3				2	1	4	1		
成人・高齢者看護学実習Ⅱ		3後	4				2	1	4	1		
成人・高齢者看護学実習Ⅲ		3後	1				2	1	4	1		
小児看護学実習		3後	2			1	1	2				
母性看護学実習		3後	2			2	1				1	
精神看護学実習	3後	2			1	1				3		
学科専門科目	異文化と看護	2前	1				1					
	国際保健演習	4前	1				1					
	健康教育演習	2後	1				4	1	3			
	地域・在宅看護援助Ⅰ	2後	2			1		2	2			
	地域・在宅看護援助Ⅱ	3前	1			1		4	2			
	情報と看護展開Ⅲ	3前	1			2	4	5	2			
	地域・在宅援助技術	3前	1					2	2			
	地域・在宅看護学実習Ⅰ	3後	1					2	2	1		
	地域・在宅看護学実習Ⅱ	3後	2					2	2	1		
	公衆衛生看護学概論	2前	2			1						
	公衆衛生看護論	2後		2				1				
	公衆衛生看護管理論	4後	1			1		2				1
	産業保健	3前	1									1
学校保健	2前	2					1					
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前	2				1	2	1	1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前	2				1	2	1	1			
養護概説	3前	2					1					
健康相談活動	4前	2					1					
看護の統合と発展	地域包括ケア演習	4後	1			6	8	6				2
	看護の質改善	4前	1				2	2				
	海外看護研修	3後		2			1					
	課題探究方法論	4前	1			1						
	看護課題の探究	4通	2			6	8	7	8			
	看護展開統合演習	4通	2			5	8	7	8			
	統合実習	4通	2			6	8	7	8			
看護職への道Ⅱ	4後	1			1							
教職関連科目	養護実習（事前事後指導を含む）	4通		5				1				
	教職実践演習（養護）	4後		2				1				1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
看護の基礎	看護職への道Ⅰ	1前	1			1							
	看護学概論	1前	2			2	4						
	看護倫理	2後	1			1							
	看護管理とチームアプローチ	2前	1				1						
	ヘルスアセスメントⅠ	2前	1			1	2	3	4				
	ヘルスアセスメントⅡ	2後	1				2	1	4				
	情報と看護展開Ⅰ	2前	1			2	2						
	基礎看護援助技術Ⅰ	1後	2			2				2			
	基礎看護援助技術Ⅱ	2前	2			1				5			
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			4	5	4	8	1			
	基礎看護学実習Ⅱ	1後	1			1			7	4			
	基礎看護学実習Ⅲ	2前	2			1			7	4			
	生涯発達と看護	成人・高齢者看護援助Ⅰ	3前	2				2	1	4			
成人・高齢者看護援助Ⅱ		2後	3				2	1	4			2	
小児看護援助		3前	2				1	1	2				
母性看護援助		3前	2			2	1						
精神看護援助		2後	2				1	1					
情報と看護展開Ⅱ		2後	2				1	3	4	2			
生涯発達における援助技術		3前	1			2	5	4	4				
看護展開導入演習		3前	1			3	7	6	7				
成人・高齢者看護学実習Ⅰ		3後	3				2	1	4	1			
成人・高齢者看護学実習Ⅱ		3後	4				2	1	4	1			
成人・高齢者看護学実習Ⅲ		3後	1				2	1	4	1			
小児看護学実習		3後	2				1	1	2				
母性看護学実習		3後	2				2	1			1		
精神看護学実習	3後	2				1	1			3			
学科専門科目	異文化と看護	2前	1				1						
	国際保健演習	4前	1				1						
	健康教育演習	2後	1				4	1	3				
	地域・在宅看護援助Ⅰ	2後	2					2	2				
	地域・在宅看護援助Ⅱ	3前	1			1		4	2				
	情報と看護展開Ⅲ	3前	1			2	4	5	2				
	地域・在宅援助技術	3前	1					2	2				
	地域・在宅看護学実習Ⅰ	3後	1					2	2	1			
	地域・在宅看護学実習Ⅱ	3後	2					2	2	1			
	公衆衛生看護学概論	2前	2										
	公衆衛生看護論	2後								1			
	公衆衛生看護管理論	4後	1							2		1	
	産業保健	3前	1									1	
学校保健	2前	2							1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前	2					1	2	1	1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前	2					1	2	1	1			
養護概説	3前	2							1				
健康相談活動	4前	2							1				
看護の統合と発展	地域包括ケア演習	4後	1						5	8	6		2
	看護の質改善	4前	1						2	2			
	海外看護研修	3後		2					1				
	課題探究方法論	4前	1						1				
	看護課題の探究	4通	2						5	8	7	8	
	看護展開統合演習	4通	2						5	8	7	8	
	統合実習	4前	2						5	8	7	8	
看護職への道Ⅱ	4後	1						1					
教職関連科目	養護実習（事前事後指導を含む）	4通		5						1			
	教職実践演習（養護）	4後		2						1			1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の配当年次を変更。
「上級英語Ⅲ」および「上級英語Ⅳ」… 何れも「3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
- 教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
「プロジェクトA」…「2・3・4通」→「1・2・3・4通」
「プロジェクトB」…「3・4通」→「2・3・4通」
「プロジェクトC」…「2・3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
「統計の基礎」…「1前」→「1後」
「疫学」…「2前」→「2後」
「ヘルスアセスメントⅡ」および「情報と看護展開Ⅱ」… 何れも「3前」→「2後」
「成人・高齢者看護援助Ⅰ」「精神看護援助」および「地域・在宅看護援助Ⅰ」…「2後」→「3前」
- 語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「上級英語Ⅰ」…「兼任・兼任3」→「兼任・兼任4」
「上級英語Ⅱ」…「兼任・兼任4」→「兼任・兼任5」
「上級英語Ⅳ」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任3」
- 国際化の推進を目的とする海外研修プログラムの実施方法の見直しにより、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「海外研修A」「海外研修B」および「海外研修C」… 何れも「兼任・兼任1」→「兼任・兼任11」
- 教育効果の向上を図るため、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「経済学」…「兼任・兼任3」→「兼任・兼任4」
「学びの技法Ⅰ」および「学びの技法Ⅱ」… 何れも「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「人体の構造と機能Ⅰ」…「兼任・兼任5」→「兼任・兼任8」
「人体の構造と機能Ⅱ」…「兼任・兼任7」→「兼任・兼任8」
「食物栄養演習」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「感染と免疫」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任8」
「疾病と治療Ⅳ」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任1」
- 既設学部とのクラス数および担当者の調整により、次の授業科目を担当する兼任・兼任の教員の数を変更。
「著作権と情報倫理」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
「創作文化演習」…「兼任・兼任2」→「兼任・兼任1」
「インターンシップ」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任4」
「プロジェクトC」…「兼任・兼任1」→「兼任・兼任2」
- 専任教員の就任辞退により、次の授業科目の専任教員等の配置を変更。
「地域・在宅看護援助Ⅰ」…「教授1」→ 該当なし
「地域・在宅看護援助Ⅱ」…「教授1」→ 該当なし
「情報と看護展開Ⅲ」…「教授2」→「教授1」
「公衆衛生看護学概論」…「教授1」→ 該当なし
「公衆衛生看護学管理論」…「教授1」→ 該当なし
「地域包括ケア演習」…「教授6」→「教授5」
「看護課題の探究」…「教授6」→「教授5」
「統合実習」…「教授6」→「教授5」

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
73 科目	84 科目	17 科目	174 科目	73 科目 [0]	84 科目 [0]	17 科目 [0]	174 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	食と健康	2	1・2前・後	一般	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
2	数学	2	1・2前・後	一般	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
3	プロジェクトC	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「食と健康」「数学」および「プロジェクトC」は、次年度に開講して履修機会を確保することとしている。また、必要に応じて他の科目を履修する等の代替措置もあるため未開講としても支障はない。学生に対しては、ガイダンスや掲示等を通じて未開講となることを説明し、周知している。また、必要に応じて他の科目を履修するよう指導を行うなど、履修計画に支障が生じないように配慮している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{174} = \boxed{1.72}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	常磐短期大学(必要面積 4,800㎡)と共用 (収容定員:480人)			
	校 舎 敷 地	5,010.02㎡	67,555.62㎡	0㎡	72,565.64㎡	校地等全体 借用面積 44,391.44㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	17,503.00㎡	0㎡	17,503.00㎡	内訳 校舎敷地(見和キャンパス) 借用面積 21,878.42㎡ 借用期間 30年間他			
	小 計	5,010.02㎡	85,058.62㎡	0㎡	90,068.64㎡	校舎敷地(桜の郷キャンパス) 借用面積 5,010.02㎡ 借用期間 20年間			
	そ の 他	0㎡	5,497.81㎡	0㎡	5,497.81㎡	運動場敷地 借用面積 17,503.00㎡ 借用期間 20年間			
	合 計	5,010.02㎡	90,556.43㎡	0㎡	95,566.45㎡				
(2) 校 舎	専 用	27,967.93㎡	19,145.26㎡	共用する他の 学校等の専用 2,701.26㎡	計 49,814.45㎡	常磐短期大学(必要面積 4,150㎡)と共用 (収容定員:480人)			
	(24,933.10㎡)	(19,570.38㎡)	(5,310.97㎡)	(49,814.45㎡)	桜の郷看護学校(必要 面積860㎡)と共用 (収容定員:240名)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体			
	44室	56室	64室	8室 (補助職員 4 人)	2室 (補助職員 1 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学部 看護学科			29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 382,921 [83,912] 337,000 -76,393) (365,783 [82,171]) -316,922 [73,577]) 学術雑誌 14,689 [8,709] 12,455 [5,578] (14,607 [8,657]) -12,444 -5,550) 視聴覚資料 22,131 [21,157] 29,066 -19,681) 機械・器具2,421 桜の郷看護学校との共用(貸与) 分 期間:平成30年4月~平成32年3月 機械・器具2,235 標本246	
	看護学部 看護学科	13,988 [1,749] 13,759 [1,644] (12,100 [1,339]) -(12,159 [1,359])	40 [9] 39 [9] (30 [9]) -(29 [9])	4 [3] 2 [2] 4 [3] 2 [2]	204 146 (128) -(126)	3,938 (2,697)	415 (246)		
	計	13,988 [1,749] 13,759 [1,644] (12,100 [1,339]) -(12,159 [1,359])	40 [9] 39 [9] (30 [9]) -(29 [9])	4 [3] 2 [2] 4 [3] 2 [2]	204 146 (128) -(126)	3,938 (2,697)	415 (246)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	4,729.19㎡	556		279,620冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	3,563.21㎡ 3,803.88㎡	柔剣道場		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	9,700千円	8,963千円	10,571千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	30,916千円	4,212千円	4,068千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,770千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、国庫補助金収入、受取利息・配当金収入、付随事業・収益事業収入、雑収入等により維持を図る。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	常磐大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍				
人間科学研究科										
人間科学研究科博士課程（後期）	3	2	-	6	博士 （人間科学）	0.33	平成5年度	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1	平成28年より定員減	
人間科学専攻修士課程	2	10	-	20	修士 （人間科学）	0.50	平成元年度			
被害者学研究科										
被害者学専攻博士課程（後期）	3	-	-	-	博士 （被害者学）	-	平成25年度		平成28年より学生募集停止	
被害者学専攻修士課程	2	-	-	-	修士 （被害者学）	-	平成17年度		平成28年より学生募集停止	
大学の名称	常磐大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍				
人間科学部		396		1,570	学士 （人間科学）	1.00	昭和58年度	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1		
心理学科	4	90	3年次5	370	学士 （人間科学）	0.98	平成20年度			
教育学科	4	66	3年次2	216	学士 （人間科学）	1.15	平成20年度			
初等教育コース	4	50	3年次1	162	学士 （人間科学）	1.15	平成26年度			
中等教育コース	4	10	3年次1	54	学士 （人間科学）	1.34	平成26年度			
現代社会学科	4	90	3年次4	348	学士 （人間科学）	1.10	平成16年度			
コミュニケーション学科	4	70	3年次4	308	学士 （人間科学）	0.60	昭和58年度			
健康栄養学科	4	80	3年次4	328	学士 （人間科学）	1.16	平成20年度			
総合政策学部		245	-	490	学士 （総合政策学）	0.84	平成29年度			
経営学科	4	85	-	170	学士 （総合政策学）	1.22	平成29年度			
法律行政学科	4	75	-	150	学士 （総合政策学）	0.59	平成29年度			
総合政策学科	4	85	-	170	学士 （総合政策学）	0.70	平成29年度			
国際学部		-		-	学士 （国際学）	-	平成8年度			平成29年学生募集停止
経営学科	4	-	3年次4	-	学士 （国際学）	-	平成20年度			平成29年学生募集停止
英米語学科	4	-	3年次3	-	学士 （国際学）	-	平成16年度		平成29年学生募集停止	
コミュニティ振興学部		-		-	学士 （コミュニティ振興学）	-	平成12年度		平成29年学生募集停止	
コミュニティ文化学科	4	-	3年次6	-	学士 （コミュニティ振興学）	-	平成12年度		平成29年学生募集停止	
地域政策学科	4	-	3年次6	-	学士 （コミュニティ振興学）	-	平成18年度		平成29年学生募集停止	
ヒューマンサービス学科	4	-	3年次8	-	学士 （コミュニティ振興学）	-	平成12年度		平成29年学生募集停止	
看護学部		80		80	学士 （看護学）	1.18	平成30年度	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1		
看護学科	4	80		80	学士 （看護学）	1.18	平成30年度	茨城県東茨城郡 茨城町桜の郷 280番地		

大学の名称	常 磐 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
キャリア教養学科	2	100	-	200	短期大学士 (キャリア教養 学)	0.85	平成15年度	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1		
幼児教育保育学科	2	140	-	280	短期大学士 (幼児教育保育 学)	0.92	昭和43年度			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年 4月)	<p>・講義、演習及び実習 全ての科目について、 成人と高齢者が同じ科 目で教育されることと なっているが、健康レ ベル別の看護だけでは なく、成人期及び老年 期の特徴やその時期に 必要な看護についての 内容も充実するよう努 めること。</p>	<p>留意事項</p> <p>成人・高齢者関連の科目は 平成31年度より開講され る。(30)</p>	<p>未履行</p> <p>成人と高齢者を同科目内で 教育することによる効果を 高められるよう、内容の精 査を進める。(30)</p>
	<p>・教員の補充を必要と された11授業科目につ いては、科目開講時ま でに教員を充足するこ と。</p>	<p>留意事項</p> <p>教員の補充を必要とする科 目は、平成32年度以降の科 目の為、補充に至ってい ない。(30)</p>	<p>未履行</p> <p>教員の補充を必要とする科 目は、平成32年度以降であ るものの、円滑な授業開講 を見据え、教員の確保に向 けた活動を開始する。 (30)</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 2017年度は5回開催。 委員会の構成員は13名（うち教員12名）である。構成員の内訳は次のとおり。 ・副学長（1名） ・各学部において各学科から選出された者（10名） ・総合講座委員会において委員のうちから選出された者（1名） ・学事センター統括【事務職員】（1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 ※「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」第3条 ・FD（ファカルティ・ディベロップメント、以下同じ）に関する研究活動 ・FD推進のための企画および実施に関すること ・FDに関する報告書等の作成に関すること ・その他FDの推進に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 b 実施方法 および c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>1) 授業アンケート 学生を対象に、授業の内容、教員や学生自身の授業に対する姿勢・取り組み、到達度等に関するアンケート調査を実施。2017年度の実施状況等は次項③参照。</p> <p>2) FDフォーラム 教職員を対象に、本学教員による講演や事例報告からなる集会を開催。2017年度は「本学におけるICTを活用した教育実践の可能性」をテーマとして開催し、83名（専任教員47名（全体の約40%）および事務職員等36名）が参加。（開催日：2018年2月23日）</p> <p>3) 新任教員研修 新任教員を対象に、着任後直ちに必要となる業務に関するオリエンテーション等を実施。2017年度は、次年度の看護学部の開設を踏まえ2回に分けて実施。1日目は、FD委員1名および既設学部の新任教員10名（併設短期大学の教員2名を含む）が参加。2日目は、FD委員1名および看護学部の新任教員18名が参加。（実施日：2018年3月28日および29日）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>1) 授業アンケート 次項③参照。</p>

2) FDフォーラム

フォーラムを通じて得た知見や情報を活用して、各教員が授業の充実や改善に取り組んでいる。2017年度は、本学におけるICT環境やオンライン学修支援システムの現状と課題を認識するとともに、ICTを活用した授業の実践報告を通してICTがどのように授業の変革に寄与するのかについて議論を行い、本学におけるICT化の推進および授業への活用に資する情報の共有等に取り組んだ。

3) 新任教員研修

新任教員が本学における業務をスムーズに遂行できるよう、現在は学内諸業務への円滑な導入に重点を置いた内容となっている。今後は授業改善の視点も加えながら運営の充実や改善に取り組む必要がある。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：有／実施時期：春semesterまたは秋semesterの期末（年1回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業科目ごとの評価結果を授業担当教員にフィードバックするとともに、集計結果をまとめた「報告書」を作成し学内で閲覧できるようにしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部設置の目的は、看護学の専門的知識と実践力を有し、保健・医療・福祉・教育等の場において、人々の健康な生活の保持増進に関わり、広く社会に貢献できる看護系人材を養成することである。

開設年度となる平成30年度は、学部および各学科のアドミッションポリシーに基づき、事前に計画した入学者選抜方法に基づき入試を実施し、最初の入学生を迎え入れた。入学定員を超える学生を確保することができたので、学生確保という点において目的は達成できている。

今後は設置計画に基づいて教育課程を履行するとともに、学科の特色の周知等をはじめとする広報活動についても一層の推進を図る。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成35年5月1日までに公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係諸機関、役員および教職員等に配付予定

・本学ホームページ上 (<http://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/report/index.html>) に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成35年度までに評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。なお、本学は、平成28（2016）年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審した。評価の結果、本学は同協会の大学基準に適合していると認定された。認定の期間は平成36（2024）年3月31日までとなる。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30 年 7 月 1 日)

(注)・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。